

今日は2年生が学年閉鎖となった。文化鑑賞会を予定していた日なので、残念としか言いようがない。1年前「気球に乗る体験」で、現4年生が乗る直前に、「強風のためキャンセル」となったことを思い出した▼カレンダーと時間で動く学校生活がイレギュラーになるのは、天候と閉鎖（病気等）である。今年は運動会が1日延び、遠足は予備日での実施となった▼また、温水プールの実施はバスでの送迎の関係で、該当学年は、イレギュラーな時間割で午前中を過ごす▼学校は、できるだけルーティンで動くことがよいと考えている。このルーティンのおかげで、阿下喜の子どもたちは、「5分前行動」「チャイム席」が大方根付いている▼根付いていると言えば、最近先生方のたよりを読んでいると阿下喜小の子はずいぶんといさづができるようである。外部の人にも阿下喜の子はよく挨拶ができるねと、ほめてもらった。わたしは理想が高いので、正直（そんなことはないはずだ）と思っているけれども（笑）▼これも外部の方から聞いた話であるが、阿下喜の子は、教師によく手を振り、よくハイタッチをかわすようである▼ソーシャルスキルという言葉がある。子どもに付けたい力は、学力と人間性。この人間性の中にソーシャルスキルは含まれる。11月14日、卒業を前にした6年生にそんな話をした。著者インフルエンザのため投稿が今日になった。